

質 疑 要 旨

實達典久議員 No. 1

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
1 豪雨災害からの生活となりわいの再建について (1) 今回の被害と生活再建上の課題をどう捉え、市町と連携し、必要な支援が届かない分野については、県が補完するなど、どのように支援を充実させるのか、知事の基本方針を聞く。 (2) 被災事業者の再建と雇用の維持について ア 営業を再開し、雇用を守るよう、過去の災害支援も踏まえ、直接補助を含む再建支援をどのように進めるのか。 イ 過去の災害において、制度上、補助金等の支援対象外であるみなし大企業を、実情に応じて、支援対象として取り扱ったことはあるのか。 ウ みなし大企業についても、企業の経営規模や資金調達の実情、地域の雇用を把握し、必要な支援に繋げるべきと考えるが、どのように対応するのか。	知 事 危機管理部長 商工労働部長
2 被災農業者が営農を続けられるための支援について (1) 雇用維持や営農継続のため、当面の運転資金の確保や自己負担の軽減を図る必要があると考えるが、どのように支援するのか。 (2) 令和9年春の作付けに向け、農業機械や乾燥施設、農地、水路、農道の復旧を進めるためにも、どのように農家負担の軽減に取り組んでいくのか。	知 事 農林水産部長
3 道路と河川の機能強化および強靱化について (1) 今回の豪雨による交通確保や道路寸断の教訓を踏まえ、国道159号羽咋道路及び国道415号氷見羽咋防災の早期整備、被災道路の復旧や道路網の機能強化・強靱化にどのように取り組むのか。 (2) 邑知瀉周辺の浸水状況を検証し、河川・排水施設等の機能強化・強靱化を進め、流域全体で再度災害防止に取り組むことが必要だが、方針を聞く。 (3) 永光寺川について、過去の砂防事業で整備した被災施設の復旧を進めるとともに、再度災害防止対策を実施すべきと考えるが、方針を聞く。	知 事 土 木 部 長

この質疑要旨は、9月16日午後5時55分に取りまとめたものです。

質 疑 要 旨	要 答 弁 者
4 地域の安全を日頃から支える体制について (1) 県管理河川の維持管理を将来にわたり継続していくため、外部委託や省力化技術の導入を含め、管理体制を見直す考えはないか。 (2) 平時から市町ごとに地域ゆかりの県職員などを配置し、防災訓練や日常の情報共有を重ね、災害時に機能する連携体制を一層強化する考えはないか。	知 事 危機管理部長 土 木 部 長
5 震災からの復興を着実に進める支援について (1) 液状化対策施設の長寿命化に必要な点検・修繕・更新などの費用にかかる地元負担の軽減を図るため、富山県のような支援の仕組みを創設すべきと考えるが、所見を聞く。 (2) 能登創造的復興支援交付金について ア 令和7年度末における県及び市町事業の主な内容と執行額・執行率を含む進捗状況を聞く。 イ 令和9年度末とされている活用期間はどのような事業で延長できるのか、早期に国と協議し、市町に示すべきと考えるが、所見を聞く。	知 事 復旧・復興推進部長 土 木 部 長
6 民泊のあり方と地域との共生について (1) 県内で営業する民泊の届出状況と主な苦情や違反、指導・監督の実績を聞く。また、旅館・ホテルとの公平な競争環境の確保と住民トラブルや違法営業の防止に向けた今後の指導・監督の徹底について聞く。 (2) 本県における民泊の役割をどのように認識しているのか。また、今後は、量的な拡大よりも、地域との共生と適正な管理を重視する方針を明確にすべきと考えるがどうか。 (3) 住民の生活環境を守るため、営業できる期間・日数を制限する条例の制定を検討すべきではないか。	知 事 健康福祉部長

この質疑要旨は、9月16日午後5時55分に取りまとめたものです。